

全員協議会（能登半島地震関連） 会議録（要旨）

開催日時 令和6年3月4日（月）13時56分～15時24分
開催場所 全員協議会室
出席委員 七田満男 議長
中村 聡、土屋克之、西尾雄次、磯貝幸博、川口正己、生田勇人、恩道正博、北川悦子、夷藤 満、清水文雄、中川 達、南 守雄
欠席委員 （なし）
オブザーバー （なし）
傍聴者 （報道機関）
説明員 川口 町長、上出 副町長、桐山 教育長、松井 総務部長、北野 総務部担当部長、助田 町民福祉部長、中川 町民福祉担当部長、上前 都市整備部長、宮本 都市整備部担当部長、神農 都市整備部担当部長、重島 消防長（欠席）、上出 教育部長、山田 総務課長、北 財政課長
事務局・書記 堀川 議会事務局長、川端 事務局次長兼参事、中村 書記

議 件

（1）能登半島地震関連について

【説明員】

（応急復旧進捗状況／今後の対策について、資料に基づき説明。）

○ 主な質疑等

【議員】

被害の大きかった地区の住民向けの説明会をしてほしい。

【説明員】

実施したい。

【議員】

仮設住宅の建設地について。

【説明員】

上下水道が使えると場所という条件がある。復興住宅を建設できないか検討している。地元と協議したい。

【議員】

今後、復興プラン作成時には、北部地区全体の市街化調整区域の規制解除について考えていくべきだ。

【説明員】

白帆台に隣接して新たな住宅地を造成するのであれば、進めやすいのではないか。

【議員】

罹災証明の申請について、不服申し立てが多い。丁寧な説明を。

【議員】

議会と行政とで情報共有をしっかりと行っていくこと。

(2) その他

【議員】

西荒屋小学校の今後について

【説明員】

文科省が校舎の調査をした。結果を踏まえ、町教育委員会として協議したい。令和6年度については、鶴ヶ丘小学校を使用する。

(以上)